

師團長補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ徵集年、兵科部、等級、人員、召集部隊及到着日時ヲ定メ之ヲ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ

聯隊區司令官前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ補缺召集名簿第一様式及補缺召集令狀第二様式ニ依リ令狀ハ直ニ之ヲ郡市長ニ名簿ハ召集期日

補缺召集ニ關シテハ第二十五條乃至第二十七條第二十八條第一項第二項、第三十一條第一項第二項、第三十四條第二項、第三十五條乃至第四十二條、第五十二條、第七十三條、第七十四條、第七十六條乃至第八十二條、第八十四條乃至第八十六條及

未タ教育セサル補充兵及一年志願兵ニシテハ第二章 簡閱點呼

市町村長ハ簡閱點呼ノ免除ヲ受ケタル者アルトキハ令狀ノ交付ヲ終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

市町村長ハ全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名及事由ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

市町村長前條ノ規定ニ依ル届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メ其ノ人名及事由ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ點呼開始迄ニ

テ第二次勤務演習ヲ終リ少尉同相當官ニ任セラル、資格ヲ具ヘタル者ノ簡閱點呼ハ之ヲ免除ス

師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

師團長ハ簡閱點呼執行官ニ聯隊區司令部書記一名ヲ附屬セシメ點呼ニ關スル庶務ヲ處理セシムヘシ

師團長ハ陸軍召集令第六十四條ノ規定ニ依リ簡閱點呼ヲ省略スル場合ニ於テハ省略地名及其ノ在郷軍人ノ數等ヲ具シ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

聯隊區司令官點呼場、點呼區域及點呼日割ヲ定ムルニハ各點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク半日間ニ點呼ヲ結了スル如クスルヲ要ス

陸軍召集令第六十六條ノ規定ニ依ル通知ハ點呼開始前三十日迄ニ之ヲ爲スヘシ

陸軍召集令第六十八條ノ規定ニ依ル點呼令狀ハ第十三様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼名簿ヲ作り簡閱點呼執行官ニ送達シ爾後異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ同官ニ通知スヘシ

前項ノ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作り逐次ニ送付スル簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ但シ簡閱點呼參列ノ爲出發後點呼時刻迄ニ受ケタルモノハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ當リ在郷軍人名簿ヲ携帶スヘシ

又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第二百十條 正當ノ事由ナクシテ第五十條、第九十四條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科ニ處ス

附則  
本則ハ大正二年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ師團長ハ必要ト認ムルトキハ本則ノ一部ニ付五月以内仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得  
陸軍召集條例施行細則ハ之ヲ廢止ス

### ○地方學事通則

(大正三年三月二七日法律第一三號)  
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地方學事通則改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

地方學事通則  
第一條 市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ教育事務ノ爲之ヲ學區ニ分畫スルコトヲ得  
市ノ學區ニ關シテハ市制第四百四十五條乃至第四百四十七條及市ノ財產營造物ニ關スル規定ヲ町村ノ學區ニ關シテハ町村制第二百五條乃至第二百二十七條及町村ノ財產營造物ニ關スル規定ヲ準用ス但シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得  
第二條 學區カ市制第六條ノ市ノ區市制第四百四十四條ノ市ノ一部又ハ町村制第二百二十四條ノ町村ノ一部ト區域ヲ同シクスル場合ニ於テ其ノ區又ハ一部ニ區會

又ハ區總會ノ設アルトキハ學區ニ關スル事件ハ其ノ區會又ハ區總會之ヲ議決ス  
第三條 學區ニ於テ專ラ使用スル學校幼稚園ニ關スル費用ハ其ノ學區内ニ於テ市稅町村稅ヲ納ムル義務アル者之ヲ負擔ス財產ヨリ生スル收入又ハ學校幼稚園ニ屬スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第四條 學區ヲ廢止セムトスル場合ニ於テ學區ノ財產ノ處分ニ付テハ關係アル市町村會及學區ノ區會又ハ區總會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム  
前項ノ府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ學區ハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得

第五條 市町村又ハ其ノ學區ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ他ノ市町村又ハ學區ノ兒童教育事務ノ委託ニ應スヘシ  
前項ノ委託ニ對スル報償其ノ他必要ノ事項ニ付關係市町村又ハ學區ノ協議整ハサルトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム  
前條第二項ノ規定ハ前項ノ處分ニ付之ヲ準用ス

第六條 市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ學區ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學務委員ヲ置クコトヲ得  
第七條 教育事務ノ爲ニ設クル市町村組合町村組合ハ之ヲ市町村學校組合町村學校組合ト稱ス

市町村學校組合町村學校組合ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得  
第八條 本法中市及其ノ學區ニ關スル規定ハ市町村組合及其ノ學區ニ町村及其ノ學區ニ關スル規定ハ町村組合及其ノ學區ニ之ヲ準用ス

第九條 府縣郡ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校圖書館ノ爲基本財産又ハ積立金ヲ設クルコトヲ得  
基本財産及積立金ノ管理及處分ハ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 府縣制郡制市制町村制ニ規定シタル內務大臣ノ職務ハ教育ニ關スル事項ニ付テハ內務大臣及文部大臣ニ屬ス

附則  
本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本法ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス  
從前ノ規定ニ依リ教育事務ノ爲分畫セラレタル市町村及町村學校組合ノ區ハ本法ニ依ル學區、從前ノ規定ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ本法ニ依ル町村學校組合ト看做ス

### ○小學校令施行規則中改正

(大正三年一月八日文部省令第一號)  
小學校令施行規則中左ノ通改正ス

第一百五十五條中「海軍軍人俸給令」ヲ「海軍給與令」ニ改ム  
第一百五十七條ニ左ノ一項ヲ加フ  
前項ノ遺族及其ノ順位ニ關シテハ判任官俸給令第十三條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

### ○小學校令施行規則外三則中改正

(大正二年七月二五日文部省令第二二號)  
小學校令施行規則第二十八條、中學校令施行規則第十九條、高等女學校令施行規則第二十六條及師範學校規程第四十三條中「天長節」ヲ「天長節祝日」ニ改ム

### ○日本勸業銀行法中改正

(大正三年三月三〇日法律第二四號)  
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル日本勸業銀行法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

### ○農工銀行法中改正

(大正三年三月三〇日法律第二五號)  
日本勸業銀行法中左ノ通改正ス  
第十四條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
輕便鐵道財團ハ本法ノ適用ニ付キテハ之ヲ不動産ト看做ス

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル農工銀行法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 農工銀行法中左ノ通改正ス  
 第一條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 前項ノ株式金額ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ五十圓迄ニ上スコトヲ得  
 第四條 農工銀行ノ取締役及監査役ハ農工銀行ノ營業區域内ニ住所ヲ有スルコトヲ要ス  
 第五條中「府縣郡市町村」ノ下ニ「及市制第六條ノ規定ニ依リ指定セラレタル市ノ區」ヲ加フ

○取引所法中改正

(大正三年三月三〇日法律第三三號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル取引所法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 取引所法中左ノ通改正ス  
 第八條中「指圖式」倉荷證書「及」倉荷證書「ヲ」預證券、質入證券又ハ倉荷證券ニ改ム  
 第十條 取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ従事スル商人ハ定款ノ規定ニ從ヒ其ノ取引所ノ會員トナルコトヲ得  
 取引所ノ仲買人トナラムトスル者ハ政府ノ免許ヲ受クヘシ  
 第十一條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム  
 婦女、未成年者、復權セサル家資分散者及破産者並

本法ニ依リ除名セラレ除名ノ日ヨリ五箇年ヲ經過セサル者ハ會員トナルコトヲ得ス  
 懲役若ハ重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ刑法第二編第十六章乃至第十九章第二十三章、第三十五章乃至第三十九章、舊刑法第二編第四章第一節乃至第五節第二百六十條乃至第二百六十二條第八章第九章第三節第三編第二章第一節第二節第四節乃至第六節、通貨及證券模造取締法、明治三十八年法律第六十六號、紙幣類似證券取締法、印紙犯罪處罰法商法第二百六十一條、明治二十三年法律第三十二號商法第三編第九章、同年法律第一百號、保險業法第九十八條ノ三若ハ本法第三十一條乃至第三十二條ノ五ノ規定ニ依リ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ五箇年ヲ經過セサル者ハ仲買人トナルコトヲ得ス前項ニ該當スル者亦同シ  
 第十一條ノ二 會員第十條第一項ノ要件ヲ缺キ又ハ前條第一項若ハ第二項ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ取引所ヨリ脱退ス  
 農商務大臣ハ不正ノ手段ニ依リ會員トナリタル者又ハ第十條第一項ノ要件ヲ缺キ若ハ同條第一項第二項ニ該當スル者ニシテ會員トナリタル者アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ除名シ又ハ其ノ取引所ヨリ脱退セシムルコトヲ得  
 仲買人前條第一項又ハ第三項ニ該當スルニ至リタル

トキハ免許ハ其ノ効力ヲ失フ  
 農商務大臣ハ不正ノ手段ニ依リ仲買人タルノ免許ヲ受ケタル者又ハ前條第一項若ハ第三項ニ該當スル者ニシテ免許ヲ受ケタル者アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ除名シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得  
 第十一條ノ三 仲買人他ノ取引所ノ仲買人タル免許ヲ受ケタルトキハ前ノ免許ハ其ノ効力ヲ失フ  
 前項ノ規定ハ仲買人カ取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス  
 第十一條ノ四 仲買人ハ第二項但書ノ場合ヲ除クノ外支店、出張所其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス其ノ本店以外ノ場所ヲ以テ賣買取引ノ取扱ヲ爲ス場所ト爲スコトヲ得ス何人ト雖定期取引ノ委託ノ代理、媒介又ハ取次ヲ營業ト爲スコトヲ得ス但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
 第十五條ノ二 取引所ハ其ノ定款ヲ以テ會員若ハ仲買人トナルニ必要ナル條件ヲ定メ又ハ仲買人ノ員數ヲ制限スルコトヲ得  
 第十一條ノ二ノ規定ハ會員若ハ仲買人カ前項ノ要件ヲ缺クニ至リタル場合又ハ之ヲ缺ク者ニシテ會員若ハ仲買人トナリタル者アルコトヲ發見シタル場合ニ之ヲ準用ス  
 第十五條ノ三 仲買人ハ廢業後ト雖其ノ取引所ニ於ケル取引ノ結了及監督ノ目的ノ範圍内ニ於テハ取引結

了後二週間ヲ經過スル迄仍廢業セサルモノト看做ス  
 仲買人死亡シ若ハ除名セラレ又ハ其ノ免許カ取消サレ若ハ効力ヲ失ヒタル場合ニ於テハ其ノ取引所ニ於ケル取引ノ結了ニ至ル迄亦同項ニ同シ  
 前項ノ規定ハ會員ノ死亡、除名及脱退ノ場合ニ之ヲ準用ス前三項ノ場合ニ於テ會員又ハ仲買人ノ行爲ヲ爲ス者ナキトキハ取引所ハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ他人ヲシテ其ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 取引所ト仲買人トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其ノ取引所又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ役員ト爲スコトヲ得ス  
 第十六條ノ二 役員前條第四項ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ仲買人ノ免許ヲ受ケタルトキハ其ノ職ヲ失フ理事長又ハ理事他ノ取引所ノ理事長又ハ理事タル認可ヲ受ケタルトキ亦同シ  
 農商務大臣ハ不正ノ手段ニ依リ役員タルノ認可ヲ受ケタル者若ハ前條ノ規定ニ違反シテ役員トナリタル者アルコトヲ發見シ又ハ役員ニシテ第十七條第二項ノ規定ニ違反スル者アリト認メタルトキハ之ヲ解職スルコトヲ得  
 第十六條ノ三 農商務大臣ハ役員ノ職務ヲ行フ者ナキ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ假ニ役員ヲ選任スルコトヲ得

第十七條 役員又ハ取引所ノ使用人ハ何人ノ名ヲ以テスルヲ問ハス其ノ取引所ノ取引物件ニ付取引所ニ於ケル賣買取引ヲ爲シ又ハ其ノ委託ヲ爲スコトヲ得

役員又ハ取引所ノ使用人ハ其ノ取引所又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ仲買人トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得ス

第二十二條 第一項ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ直取引又ハ延取引ノ違約ヨリ生スル損害ノ賠償ニ付テハ定款ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十五條 仲買人ハ委託ヲ受ケタル取引所ノ定期取引ニ付取引所ニ於テ其ノ賣付、買付又ハ受渡ヲ爲サスシテ之ヲ爲シタルト同一又ハ類似ノ計算ヲ以テ委託者ニ對シ其ノ決濟ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ公定相場ヲ決定シ之ヲ公示スヘシ  
取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ各仲買人ノ賣買高ヲ公示スヘシ

第二十六條ノ二 取引所ニ依ラスシテ定期取引ト同一若ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ又ハ其ノ市場ニ於テ取引ヲ爲スコトヲ得ス  
第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下

ノ罰金ニ處ス

一 第十二條第一項ノ規定ニ違反シタル者  
二 第十七條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ特別ノ利害關係ヲ生スルコトヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者

三 第二十六條ノ二ノ規定ニ違反シタル者  
第三十二條 第十一條ノ四ノ規定ニ違反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ二 取引所ノ役員又ハ取引所ニ於ケル受渡物件ノ格付ヲ爲ス者其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サ、ルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス  
第三十二條ノ三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 取引所ノ役員又ハ取引所ニ於ケル受渡物件ノ格付ヲ爲ス者ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者  
二 取引所ニ於ケル相場ヲ偽リテ公示シタル者  
三 公示若ハ頒布ノ目的ヲ以テ虛偽ノ相場ヲ記載シタル文書ヲ作製シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者

者

前項第一號ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得  
第三十二條ノ四 取引所ニ於ケル相場ノ變動ヲ圖ル目的ヲ以テ虛偽ノ風説ヲ流布シ、偽計ヲ用ヒ又ハ暴行若ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ五 取引所ニ依ラスシテ取引所ノ相場ニ依リ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第百八十六條ノ適用ヲ妨ケス

第三十二條ノ六 會員又ハ仲買人ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ第十一條ノ四若ハ第十二條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

附則  
本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

○郵便規則中改正

(大正二年七月三日逓信省令第七一號)  
郵便規則中左ノ通改正ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第十四條ノ二第二項ヲ左ノ如ク改メ第三項ヲ加フ  
前項ノ郵便物ニハ返信用ニ充ツル爲メ封筒、通常業

第三追補改正法規大全

○同上

(大正二年九月四日逓信省令第八〇號)  
郵便規則中左ノ通改正ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第四十三條ノ十 削除  
第八十三條及第八十七條中「逓信局」ノ下ニ「又ハ管理事務分掌一等郵便局」ヲ加フ

○通常郵便物市内特別取扱規則中改正  
(大正二年七月三日逓信省令第七二號)  
通常郵便物市内特別取扱規則中左ノ通改正ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第一條第一項第一號但書ヲ左ノ如ク改ム  
但シ返信用ニ充ツル爲メ其ノ全部ニ對シ有封書狀ニハ郵便葉書、郵便切手、封筒又ハ印刷シタル各種ノ用紙並ニ之ニ必要ナル收入印紙ヲ封入シ又無封書狀

書若クハ相當料金ノ郵便切手ヲ貼付シタル私製葉書ニ差出人ノ宿所氏名又ハ返信用文ヲ印刷シタルモノ一枚ヲ限リ添付スルコトヲ得  
本條ノ郵便物ニ付テハ第十條ノ規定ヲ準用ス  
第二十四條ノ二ニ左ノ第二項ヲ加フ  
印刷物ノ差出人ハ注文用ニ充ツル爲自己ノ宿所氏名ヲ印刷シタル封筒一枚ヲ限リ添付スルコトヲ得

第六七

ニハ封筒、通常葉書若クハ相當料金ノ郵便切手ヲ貼付シタル私製葉書ニ差出人ノ宿所氏名又ハ返信用文ヲ印刷シタルモノ一枚ヲ限リ添付スルコトヲ得

○郵便貯金規則中改正

(大正三年四月二日逓信省令第七號)

郵便貯金規則中左ノ通改正ス  
本令ハ大正三年四月二十一日ヨリ之ヲ施行ス  
第十一條第二項中「當該承認局所」ノ下ニ「又ハ貯金原簿所管廳」ヲ加ヘ且左ノ但書ヲ加フ  
但シ貯金原簿所管廳ニ對シ徵號ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ通帳ヲ最寄郵便局ニ差出シ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ  
第十二條中「規約貯金ノ取扱ヲ承認シタル郵便局所ニ差出シ」ヲ「前條第二項ノ例ニ依リ」ニ改ム  
第十八條但書中「逓信大臣」ヲ「逓信局長又ハ管理事務分掌一等郵便局長」ニ改ム

○郵便振替貯金規則中改正

(大正二年八月七日逓信省令第七三號)

郵便振替貯金規則中左ノ通改正ス  
本令ハ大正二年八月十一日ヨリ之ヲ施行ス  
第四條ヲ削ル  
第十四條第一項中「若ハ名簿」及「及加入者名簿」ヲ削ル

○同上

(大正二年九月四日逓信省令第八四號)

郵便貯金規則中左ノ通改正ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第四十九條第一項及第二百二十三條中「逓信局」ノ下ニ「又ハ管理事務分掌一等郵便局」ヲ加フ  
第四十九條第二項中「何逓信局」ヲ「何局」ニ改ム  
第五十七條中「逓信局長」ノ下ニ「若ハ管理事務分掌一等郵便局長」ヲ加フ  
第二百二十二條第一項中「逓信局長」ノ下ニ「又ハ管理事務分掌一等郵便局長」ヲ加フ

○同上

(大正二年二月一日逓信省令第一〇二號)

郵便振替貯金規則中左ノ通改正ス  
本令ハ大正三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第六十一條第二項中「一口ニ付四十錢」ヲ「一口ノ請求ナルトキハ四十錢、同時ニ二口以上ノ請求ナルトキハ一口ハ四十錢其ノ他ハ一口ニ付十錢」ニ改ム  
第六十二條ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ第二十八條第二項ニ該當スル拂出ナルトキハ拂出書金額記載ノ下部ニ「本人拂」ノ文字ヲ附記スヘシ

○土地收用法中改正

(大正三年三月三〇日法律第一五號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル土地收用法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
土地收用法中左ノ通改正ス  
第二條第四號中「軌道」ノ下ニ「索道」ヲ「下水」ノ下ニ「市場」ヲ加ヘ「電氣機」ヲ「電氣裝置」ニ「瓦斯燈」ヲ「瓦斯裝置」ニ改ム  
第五十五條ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ空間ヲ使用スル場合ニ於テ土地ノ使用ヲ妨ケサルトキハ此ノ限ニ在ラス

○耕地整理法中改正

(大正三年三月三〇日法律第二二號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル耕地整理法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
耕地整理法中左ノ通改正ス  
第一條中「區劃形質ノ變更」ノ下ニ「湖海ノ埋立、干拓」ヲ加フ  
第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス  
第二條ノ三 官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許

可ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條中「關係人ノ同意書」ノ下ニ「竝第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意書」ヲ加フ  
第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ土地ノ所有者又ハ賃貸人ニ移轉ス  
第七條中「地方長官」ヲ「主務大臣、地方長官」ニ改ム  
第九條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ登記所又ハ土地臺帳所管廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合ノ組合長、組合副長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得  
第十二條中「適用セス」ノ下ニ「埋立地又ハ干拓地ニ付亦同シ」ヲ加フ  
第十三條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ地租ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第四項中「前二項」ヲ「第一項 第二項及第四項」ニ改ム

前二項ノ規定ハ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ第一類地ニ開拓シタル土地、埋立地又ハ干拓地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條 耕地整理ヲ施行スルニ當リ其ノ地區内ノ民有土地總面積ノ五分ノ一以上ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地價ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價總額ト之ニ對スル原價總額トノ差額ノ平均額ヲ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乗シタル額ヲ原價總額ニ加ヘタルモノヲ以テ前條第一項ノ現地價トス

前項ノ場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事著手ノ年ヨリ二十年以上三十年以内、變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價據置年期ヲ許可シ年期明ノ年ヨリ修正地價ニ依リ其ノ地租ヲ徵收ス但シ開墾シタル土地ニシテ年期明ニ至リ工事完了又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ工事完了迄又ハ二十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

地租ヲ課セサル土地ヲ整理施行地區ニ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ設定シ前條第一項ノ現地價トス第二項ノ規定ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ原價ニ依リ算出シタル地租ヨリ少キ土地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條ノ二 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ノ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ第一類地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立テ若ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓地ニ付テハ五十年以内、其ノ他ノ土地ニ付テハ十年以内ノ耕地整理新開免租年期ヲ許可ス

但シ年期明ニ至リ地味成熟セサルトキハ更ニ二十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ年期明ニ至リ其ノ地價ヲ設定シ其ノ年ヨリ地租ヲ徵收ス

第十五條中「又ハ地目ヲ變換シ地價ノ修正アリタル土地」ヲ削リ第一號ニ左ノ但シ書ヲ加フ

但シ工事完了ノトキニ於テ地價ノ修正又ハ設定當時ノ現況ヨリ第一類地ノ地目ニ變更シタル場合ニ於テハ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタルモノト看做シ第十四條第一項ノ規定ヲ準用ス

第十六條中「第十四條第二項ニ該當スル土地」ヲ「第十四條ニ依リ年期ヲ許可シタル土地」ニ「第十四條第二項ニ定ムル期間中」ヲ「第十四條ニ依ル年期中」ニ改ム

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第三十條中「告示スヘシ」ヲ「告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ」ニ改ム

第三十三條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條ニ左ノ二項ヲ加フ

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルトキハ其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規

定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ

第七十二條中「解散、合併又ハ地區ノ變更」ヲ「解散又ハ合併」ニ改ム

第七十九條第一項中「組合費又ハ」ヲ「組合費」ニ改メ「金錢」ノ下ニ「又ハ延滞利息若ハ過怠金」ヲ加フ

第八十八條第一項中「又ハ」ヲ「若ハ」ニ改メ「不服アル者」ノ下ニ「又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約開墾者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者」ヲ加フ

第九十一條ノ二 耕地整理組合ノ組合長、組合副長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ

三百圓以下ノ罰金ニ處ス  
 前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減  
 輕又ハ免除スルコトヲ得  
 第九十五條中「第十七條」ノ下ニ「第二十五條」ヲ「第四  
 十條」ノ下ニ「第七十九條」ヲ加フ  
 附則  
 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

追補

●戶籍法施行細則 (大正三年十月三日 司法省令第七號)

戶籍法施行細則左ノ通相定ム

戶籍法施行細則

- 第一條 戶籍用紙ハ強靱ナル美濃紙ヲ用キ附錄第一號  
 様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 戶籍カ數葉ニ涉ルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴  
 目ニ契印スヘシ
- 舊法ノ規定ニ依ル戶籍ノ用紙ヲ用キ盡シタルトキハ  
 前條ノ戶籍用紙ヲ用キテ記載ヲ繼續スヘシ
- 第三條 戶籍簿ニハ附錄第二號様式ニ依ル表紙ヲ附ス  
 ヘシ
- 戶籍簿ハ之ヲ分冊スルコトヲ得此場合ニ於テハ其表  
 紙ニ番號ヲ記載シ地區ニ依リテ分冊シタルトキハ其  
 地區ノ名稱ヲモ記載スヘシ
- 第四條 除籍簿ハ年毎ニ之ヲ別冊トシ其表紙ニ「大正  
 何年除籍簿」ト記載スヘシ
- 前條ノ規定ハ各年度ノ除籍簿ニ之ヲ準用ス
- 市町村長ハ相當ト認ムルトキハ數年度ノ除籍簿ヲ合  
 綴スルコトヲ得此場合ニ於テハ更ニ表紙ヲ附シ  
 「自大正何年 除籍簿綴」ト記載スヘシ
- 第五條 戶籍ノ全部ヲ抹消シタルトキハ市町村長ハ遲  
 滯ナク其戶籍ノ副本ヲ監督區裁判所ニ送付スヘシ
- 區裁判所ハ前項ノ規定ニ拘ハラヌ何時ニテモ戶籍ノ

改正法規大全

副本ヲ徴スルコトヲ得戶籍法施行前戶籍簿ヨリ除カ  
 レタル戶籍ノ副本亦同シ

- 第六條 區裁判所カ前條第一項ノ規定ニ依リテ送付ヲ  
 受ケタル副本及ヒ同條第二項ノ規定ニ依リテ徴シタ  
 ル除籍ノ副本ハ市町村ノ區別ニ從ヒ之ヲ編綴シ除籍  
 簿ノ副本トシテ之ヲ保存スヘシ
- 第四條ノ規定ハ前項ノ帳簿ニ之ヲ準用ス
- 第七條 市町村長ハ戶籍簿及ヒ除籍簿ニ付キ各別ニ見  
 出帳ヲ調製シ之ニ戶主ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スヘシ
- 前項ノ記載ハ戶主ノイロハ順ニ依リテ之ヲ爲スヘシ
- 第八條 市町村長カ届書其他ノ書類ヲ受理シ又ハ其送  
 付ヲ受ケタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及ヒ年月日  
 ノ外本籍人及ヒ非本籍人ノ區別ニ從ヒ受附ノ順序ニ  
 依リ種類番號ヲ記載スヘシ
- 市町村長カ戶籍法第三十九條第二項又ハ第六十四條  
 第三項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍  
 ノ訂正又ハ記載ヲ爲ストキハ前項ニ掲ケタル事項ハ  
 許可書ニ之ヲ記載スヘシ
- 第九條 事件ノ種類ハ戶籍法第四章第二節乃至第十九  
 節ニ掲ケタル事件ノ區別ニ從ヒテ之ヲ定ムヘシ
- 届出ノ追完、戶籍ノ訂正及ヒ戶籍法第四百二十二條ニ  
 依ル一家創立ノ届出ニ關スル書類ニ付テハ前項ノ規  
 定ニ拘ハラヌ別ニ一ノ種目ヲ定ムヘシ
- 第十條 市町村長ハ附錄第三號様式ニ依リ毎年受附帳  
 簿ヲ調製シ其年度内ニ受理シタル事件ニ付キ受附ノ順

一

序ニ從ヒ件名、届出事件ノ本人ノ氏名竝ニ本籍、受附ノ番號竝ニ年月日及ヒ種類番號ヲ記載スヘシ  
 受附番號及ヒ種類番號ハ毎年之ヲ更新スヘシ  
 第十一條 戶籍ノ副本又ハ届書其他ノ書類若クハ其謄本ノ送付ハ送付スヘキ書類ニ發送ノ年月日及ヒ發送者ノ職氏名ヲ記載シテ之ヲ爲スヘシ  
 第十二條 戶籍ノ記載ハ附録第一號様式附屬雛形ニ定メタル相當欄ニ之ヲ爲スヘシ  
 直系尊屬、直系卑屬若クハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者又ハ戸主ノ親族ニ非サル者ハ親族順位ニ依リ親族順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ之ヲ記載スヘシ  
 事項欄ノ記載ハ附録第四號記載例ニ從ヒ事件毎ニ行テ更メテ之ヲ爲スヘシ  
 第十三條 婚姻及ヒ離婚ニ關スル事項ハ夫及ヒ妻ノ事項欄ニ之ヲ記載スヘシ  
 第十四條 復籍拒絶及ヒ家督相續人ノ指定ニ關スル事項ハ戸主ノ事項欄ニ之ヲ記載スヘシ  
 新ニ戶籍ヲ編製スルトキハ戸主及ヒ家族ノ自分ニ關スル事項ニシテ基本タル戶籍ニ記載シタルモノハ之ヲ新戶籍ニ記載スヘシ  
 第十五條 戶籍法第五十八條第二項ノ場合ニ於テハ届書ニ添附シタル戶籍ノ謄本ニ記載シタル事項ハ婚姻其他ノ事由ニ因リ戶籍ヨリ除カレタル者ニ關スルモノト雖モ之ヲ轉籍地ノ戶籍ニ記載スヘシ

第十六條 本籍地變更ノ後原籍地ノ市町村長カ受理シタル届書其他ノ書類ハ之ヲ新本籍地ノ市町村長ニ送付シ其書類ニ依リテ爲シタル戶籍ノ記載ハ之ヲ抹消シ且其事由ヲ戶籍ニ記載スヘシ  
 新本籍地ノ市町村長カ前項ノ書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ依リテ戶籍ノ記載ヲ爲スヘシ  
 第十七條 離縁又ハ離婚ニ因リ實家ニ復籍シタル者ニ付テハ戶籍ニ離縁又ハ離婚ニ關スル事項ノ外實家ノ戶籍又ハ除カレタル戶籍ニ基キ其者ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スヘシ但實家ノ本籍地ノ市役所又ハ町村役場ニ保存スル戶籍及ヒ除カレタル戶籍ニ記載ナキ事項ハ此限ニ在ラス  
 第十八條 前項ノ規定ハ縁組又ハ婚姻ノ無効又ハ取消其他ノ事由ニ因リ戶籍ノ記載ヲ回復スヘキ場合ニ之ヲ準用ス  
 第十九條 復籍拒絶ニ關スル記載ヲ抹消スルトキハ其指定家督相續人ニ付キ死亡、指定ノ取消又ハ指定ノ效力ヲ失フヘキ事由ノ届出アリタル場合ニ於テハ事由ヲ記載シテ家督相續人ノ指定ニ關スル戶籍ノ記載ヲ抹消スヘシ  
 第二十條 戶籍ノ全部若クハ一部又ハ其記載ヲ抹消スルニハ附録第五號様式ニ依リテ之ヲ朱抹スヘシ  
 第二十一條 戶籍ノ訂正ヲ爲スニハ訂正ノ趣旨及ヒ事由ヲ記載シ附録第六號様式ニ依リ訂正スヘキ記載ヲ

朱抹スヘシ  
 第二十二條 行政區畫土地ノ名稱又ハ地番號ノ更正ヲ爲スニハ事項欄ニ更正ノ事由ヲ記載シ附録第七號様式ニ依リ更正スヘキ事項ノ記載ヲ訂正スヘシ  
 行政區畫又ハ土地ノ名稱ヲ更正スル場合ニ於テハ戶籍簿ノ表紙ニ記載シタル名稱ヲ更正シ表紙ノ裏面ニ其事由ヲ記載スヘシ  
 第二十三條 戶籍法第八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ身分登記ニ依リテ戶籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ記載スヘシ  
 第二十四條 戶籍法第八十五條但書ノ規定ニ依リ戶籍ノ記載ヲ省クトキハ其事由ヲ記載スヘシ  
 第二十五條 市町村長ノ代理者カ戶籍ノ記載ヲ爲ストキハ其文末ニ代理資格ヲ記載シテ認印スヘシ  
 第二十六條 戶籍法第三十七條ノ書類ニシテ非本籍人ニ關スルモノハ其書類ヲ受理シタル市役所又ハ町村役場ノ區別ニ從ヒ年毎ニ各別ニ之ヲ編綴スヘシ但分綴スルコトヲ妨ケス  
 第二十七條 戶籍法第三十六條第二項ノ書類ハ年毎ニ各別ニ之ヲ編綴スヘシ但分綴スルコトヲ妨ケス  
 第二十八條 區裁判所カ新戶籍ノ副本及ヒ第五條第一項ノ戶籍ノ副本ノ送付ヲ受ケタルトキハ前ニ送付ヲ受ケタル戶籍ノ副本ハ其戶籍ニ關スル届書其他ノ書類ト共ニ別ニ編綴シ之ヲ廢書簿ト爲スヘシ但第六條ノ帳簿ニ編綴スヘキモノハ此限ニ在ラス

第二十九條 區裁判所カ戶籍法施行前ノ戶籍ノ副本ノ引繼ヲ受ケサル場合ニ於テ第五條第一項又ハ第二項ニ依リ戶籍ノ副本ノ送付ヲ受ケタルトキハ其旨ヲ地方裁判所長ニ通知スヘシ  
 第三十條 市町村ノ區域ノ變更アリタル場合ニ於テ戶籍及ヒ之ニ關スル書類ノ引繼ヲ完了シタルトキハ引繼ヲ受ケタル市町村長ヨリ其旨ヲ監督區裁判所ニ報告スヘシ  
 市町村ノ區域ノ變更ニ因リ區裁判所ノ管轄ニ變更ヲ生シタルトキハ舊管轄區域内ノ本籍人ノ戶籍竝ニ除カレタル戶籍ノ副本及ヒ之ニ關スル書類ハ新管轄區裁判所ニ之ヲ引繼クヘシ  
 第三十一條 戶籍簿及ヒ届書其他ノ書類ハ鎖鑰アル書籍ニ藏メ其保存ヲ嚴ニシ尙ホ倉庫アルトキハ倉庫ニ藏置クヘシ  
 第三十二條 事變ヲ避クル爲メ戶籍簿又ハ除籍簿ヲ市役所又ハ町村役場外ニ持出シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ監督區裁判所ニ報告スヘシ  
 第三十三條 戶籍簿又ハ除籍簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ市町村長ハ遲滞ナク其事由、年月日、帳簿ノ名稱冊數其他必要ナル事項ヲ記載シ監督區裁判所ニ申報スヘシ  
 監督區裁判所前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ必要ノ調査ヲ爲シタル後其再製又ハ補完ノ方法ヲ具シ之ヲ管轄地方裁判所長及ヒ司法大臣ニ具申スヘシ



第三十四條 戶籍簿又ハ除籍簿ノ全部又ハ一部カ滅失スル虞アルトキハ前條ノ例ニ準シ申報及具申ヲ爲スヘシ

第三十五條 戶籍簿、除籍簿又ハ屆書其他ノ書類ノ閱覽ハ吏員ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十六條 戶籍又ハ除カレタル戶籍ノ謄本又ハ抄本ハ原本ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ

謄本又ハ抄本ニハ其記載ニ接續シテ附録第八號書式ニ依ル附記ヲ爲スヘシ

謄本又ハ抄本カ數葉ニ涉ルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ

前項ノ規定ハ謄本又ハ抄本ニ掛紙ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ市町村長ノ作ルヘキ屆書其他ノ書類ノ謄本ニ之ヲ準用ス

第三十八條 戶籍法第十四條第三項ニ依ル告知ノ書面ハ附録第九號書式ニ依リテ之ヲ作ルヘシ

第三十九條 届出又ハ申請ノ受理又ハ不受理ノ證明書ハ附録第十號書式ニ依リ屆書、申請書其他ノ書類ニ記載シタル事項ノ證明書ハ附録第十一號書式ニ依リテ之ヲ作ルヘシ但シ市町村長ハ證明ヲ求ムル事項ヲ記載シタル書面又ハ其符箋ニ證明ノ趣旨及ヒ年月日ヲ記載シテ署名、捺印シ之ヲ以テ證明書ニ代フル事ヲ得符箋ニ依リテ前項ノ證明ヲ爲ス場合ニ於テハ職印ヲ以テ接目ニ契印スヘシ

二項ノ規定ニ依リ戶籍ノ副本ノ送付アリタル翌年ヨリ三年トス

第四十八條 戶籍法第八十四條第二項又ハ第八十五條ニ依リテ戶籍ヲ改製シタル場合ニ於テハ原戶籍ノ保存期間ハ改製ノ翌年ヨリ五十年トス

第四十九條 本籍人身分登記簿ノ正本、非本籍人身分登記簿ノ正本及ヒ副本及ヒ非本籍人ノ身分ニ關スル屆書並ニ附屬書類ノ保存期間ハ戶籍法施行ノヨリヨリ三年トス但第五十一條第一項第三號ニ掲ケタルモノハ此限ニ在ラス

本籍人身分登記簿ノ副本ノ保存期間ハ戶籍法施行ノ日ヨリ五十年トス但區裁判所カ第五條第二項ノ規定ニ依リ市町村毎ニ戶籍及ヒ戶籍法施行前戶籍簿ヨリ除カレタル戶籍ノ副本ノ全部ノ送付ヲ受ケタル翌年ヨリ三年間之ヲ保存スルヲ以テ足ル

第五十條 戶籍法施行前ノ戶籍ノ副本ハ新戶籍ノ副本ノ送付アルマテ又ハ戶籍法第八十四條第二項若クハ第八十五條ノ規定ニ依リ戶籍ノ改製ヲ爲スマテ之ヲ保存スヘシ

第五十一條 前二條ニ掲ケタルモノヲ除ク外戶籍法施行前ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ左ノ區別ニ依ル

一 除籍簿 五十年

二 舊戶籍法第二百一十一條第一項ニ依リ戶籍ヲ改製シタル場合ニ於ケル原戶籍 五十年

三 戶籍ノ記載ヲ要セサル事項並ニ日本ノ國籍ヲ有

第四十條 自身登記簿ノ閱覽及ヒ自身登記ノ謄本並ニ抄本ノ交付ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第四十一條 市町村長カ届出、申請又ハ其追完ヲ怠リタル者ニ對シ戶籍法第六十四條又ハ第六十五條ニ依リ爲スヘキ催告ハ附録第十二號書式ニ依リ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十二條 市町村長カ届出、申請又ハ其追完ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ届出事件ヲ具シ其旨ヲ管轄區裁判所ニ通知スヘシ

第四十三條 届出地カ届出事件ノ本人ノ寄留地ナルトキハ届出人ハ屆書ニ其旨ヲ記載スヘシ

戶籍法第四十四條第一項ノ規定ニ依リ日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付キ届出人ノ所在地ニ於テ届出ヲ爲ス時ハ屆書ニ本人ノ寄留地ヲ記載スヘシ

第四十四條 戶籍及ヒ之ニ關スル帳簿並ニ書類ノ保存期間ハ後四條ノ定ムル所ニ依ル

第四十五條 除籍簿及ヒ除籍簿ノ副本ノ保存期間ハ五十年トス

戶籍法第三十六條第二項ノ書類ノ保存期間ハ十年戶籍法第三十七條ノ書類ニシテ非本籍人ニ關スルモノノ保存期間ハ三年トス

前二項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第四十六條 受附帳ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ五年トス

第四十七條 廢書簿ノ保存期間ハ第五條第一項又ハ第八

セサル者ニ關スル事項ニ付テノ屆書及ヒ附屬書類

四 戶籍及ヒ本籍人ノ身分ニ關スル屆書及ヒ附屬書類 十年

五 受附帳 三年

前項第一號及ヒ第三號乃至第五號ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ第二號ノ原戶籍ノ保存期間ハ改製ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第五十二條 前條第一項第二號ニ掲ケタルモノヲ除ク外舊戶籍法施行前ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ從前ノ規定ニ依ル

第五十三條 市町村長カ保存期間ヲ經過シタル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り監督區裁判所ノ認可ヲ受クヘシ

第五十四條 戶籍事務ノ取扱ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ市町村長ハ監督區裁判所ヲ經由シテ司法大臣ニ稟伺スルコトヲ得

附則 本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄 戶籍記載例

出生 一 麴町區平河町一丁目四番地ニ於テ出生父甲野義太郎 届出大正五年九月貳拾日受附入籍

二 神奈川縣橋樹郡橋村四番地ニ於テ私生子出生同居

- 者丙原猪吉届出大正五年九月拾八日橋村長山邊熊藏受附同月貳拾日送付入籍
- 三 神奈川縣橋樹郡橋村五番地戸主丙野音吉長女楯子太郎後見人乙野忠太郎届出大正五年拾月五日受附父母ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ因リ一家創立
- 四 麴町區平河町一丁目四番地ニ於テ出生父未定母甲野藤子届出大正參拾年貳拾壹日受附入籍
- 五 神戸港ヨリ横濱港ニ向ケ航海中ノ船舶日本丸内ニ於テ出生船長丙原鯨吉ノ作製發送ニ係カル航海日誌ノ謄本大正五年九月拾九日横濱市長船崎安守受附同月貳拾日送付入籍
- 六 麴町區平河町一丁目四番地ニ於テ出生名未定產婆丙原鳥子届出大正五年九月貳拾日受附入籍
- 七 父甲野義太郎子ノ名追完届出大正五年九月貳拾日受附
- 八 大正五年九月貳拾日一家創立同日附麴町區長雲井高輔調書ニ依リ記載
- 九 大正五年拾月拾八日父麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎引取戸籍訂正申請同月貳拾日受附戸籍抹消
- 十 麴町區平河町一丁目四番地ニ於テ出生父甲野義太郎母梅子届出大正五年九月貳拾日受附入籍
- 十一 神奈川縣橋樹郡橋村五番地戸主丙野音吉長女楯

- 子私生子父甲野義太郎認知届出大正五年九月貳拾日受附入籍
- 十二 父東京市麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎認知届出大正五年九月貳拾日受附同月貳拾壹日入籍通知ニ因リ除籍
- 十三 奈川縣橋樹郡橋村四番地戸主丙野杉子私生子大正貳拾五年拾貳月拾日私生子認知ノ裁判確定親權ヲ行フ母杉子届出同月拾參日受附入籍
- 十四 麴町區平河町一丁目四番地戸主丙野杉子私生子父亡甲野禮太郎認知遺言執行者丙原龍藏届出大正五拾年拾月八日受附入籍
- 養子縁組
- 十五 麴町區元園町一丁目三番地戸主乙川孝輔二男甲野義太郎同人妻梅子ト養子縁組届出大正五年七月四日受附入籍
- 十六 麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎同人妻梅子ト養子縁組届出大正五年七月四日受附除籍
- 十七 千葉縣千葉郡千葉町六番地戸主乙川孝輔二男甲野義太郎同人妻梅子ト養子縁組届出大正四年七月四日横濱市長船崎安守受附同月五日送付入籍
- 十八 東京市麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎同人妻梅子ト養子縁組届出大正五年七月四日横濱市長船崎安守受附同月五日送付同月六日入籍通知ニ因リ除籍
- 十九 麴町區麴町四丁目六番地戸主甲野義太郎甥(實

- 家戸主麴町區元園町一丁目三番地乙川孝輔養父甲野義二郎養母菊子)丙川信助同人妻雪子ト養子縁組届出大正拾年拾月七日受附入籍
- 二十 夫孝二郎ト共ニ養子縁組届出大正五年七月四日受附入籍
- 二十一 夫孝二郎ト共ニ養子縁組届出大正五年七月四日受附除籍
- 二十二 麴町區元園町一丁目三番地戸主乙川孝輔二男甲野義二郎ト養子縁組同人及縁組承諾者乙川孝輔並妻鯛子届出大正拾貳年拾月七日受附入籍
- 二十三 夫孝二郎ト共ニ養子縁組本人所在不明ニ付キ夫ヨリ雙方ノ名義ヲ以テ届出大正五年七月四日受附入籍
- 二十四 麴町區元園町一丁目三番地戸主乙川孝輔二男亡甲野義太郎ト養子縁組遺言執行者丙原龍藏届出大正貳拾年七月七日受附入籍
- 二十五 千葉縣千葉郡千葉町六番地戸主乙川孝輔孫甲野禮二郎同人妻藤子ト養子縁組大正五年七月四日届出右不受理ニ對スル抗告ニ付キ同月貳拾參日附東京區裁判所ノ裁判ニ基キ同月貳拾四日受附入籍
- 二十六 大正四年拾月拾四日養子縁組取消ノ裁判確定養父甲野義太郎養母梅子届出同月拾八日受附同月貳拾日(婚家廢家ニ付キ實家麴町區元園町一丁目三番地乙川孝輔家籍ニ)入籍通知ニ因リ除籍

- 二十七 養父丙川信二郎養母鶴子ト協議離縁届出大正九年拾月壹日受附除籍
- 二十八 養父麴町區元園町一丁目四番地戸主丙川信太郎弟信二郎及養母鶴子ト協議離縁届出大正九年拾月壹日受附復籍
- 二十九 大正九年拾月壹日夫義二郎離縁ニ付キ共ニ除籍
- 三十 大正九年拾月壹日夫義二郎復籍シタルニ付キ共ニ入(復)籍
- 三十一 養父千葉縣千葉郡千葉町一番地戸主丙川信太郎弟信二郎養母鶴子ト協議離縁届出大正九年拾月壹日千葉町長波川保吉受附同月貳日送付復籍
- 三十二 養父丙川信二郎養母鶴子死亡後戸主丙川信太郎ノ同意ヲ得テ離縁届出大正拾年拾月壹日受附除籍
- 三十三 大正九年九月貳拾七日離縁ノ裁判確定養父丙川信二郎養母鶴子届出同年拾月壹日受附同月六日入籍通知ニ因リ除籍
- 三十四 大正九年九月貳拾七日離縁ノ裁判確定養父千葉縣千葉郡千葉町一番地戸主丙川信太郎弟丙川信二郎養母鶴子届出同年拾月壹日千葉町長波川保吉受附同月參日送付實家廢家ニ付キ一家創立
- 三十五 養父千葉縣千葉郡千葉町一番地戸主丙川信二郎養母鶴子ト協議離縁届出實家廢家(絶家)ニ付キ(縁組ニ付キ東京市麴町區麴町四丁目六番地實家戸

主甲野義太郎ノ同意ヲ得サリシ爲メ大正參拾參年拾月壹日復籍ヲ拒絕セラレタルニ付キ一家創立届出大正五拾年拾貳月拾七日千葉町長波川保吉受附同月二拾日送付

三十六 養父千葉縣千葉郡千葉町一番地戸主丙川信二郎養母鶴子ト協議離婚届出大正五拾年拾貳月拾七日千葉町長波川保吉受附同月貳拾日送付實家廢家(絶家)ニ付キ(縁組ニ付キ東京市麴町區麴町四丁目六番地實家戸主甲野義太郎ノ同意ヲ得サリシ爲メ大正參十參年拾月壹日復籍ヲ拒絕セラレタルニ付キ)一家創立届出同月拾八日麴町區長雲井高輔受附同月貳拾日送付

三十七 養父丙川信二郎養母鶴子ト協議離婚届出大正九年拾月壹日受附實家廢家(絶家)ニ付キ神奈川縣橋樹郡橋村百番地ニ一家創立同月拾六日入籍通知ニ因リ除籍  
三十八 養父丙川信二郎養母鶴子ト協議離婚届出大正九年拾月壹日受附實家廢家(絶家)ニ付キ神奈川縣橋樹郡橋村百番地ニ再興同月拾日入籍通知ニ因リ除籍

三十九 乙原藤子ト婚姻届出大正參拾參年七月五日受付  
四十 千葉縣千葉郡千葉町四番地戸主乙原信藏ニ女大正參拾參年七月五日甲野禮二郎ト婚姻届出同日入籍

五十 大正拾年六月拾四日甲野義太郎トノ婚姻取消ノ裁判確定東京地方裁判所檢事野賢二記載請求同月拾八日受附同月貳拾日入籍通知ニ因リ除籍  
五十一 丙川山子ト婚姻届出大正拾貳年七月參日橋村長山邊熊藏受附甲野義二郎本籍分明届出同年八月參拾日同村長山崎寅藏受附同年九月貳日送付  
五十二 神奈川縣橋樹郡橋村四番地戸主内川悌八姊大正拾貳年七月參日甲野義二郎ト婚姻届出同年九月貳日入籍

五十三 本籍不明甲野義二郎ト婚姻届出大正拾貳年七月參日受附甲野義二郎本籍東京市麴町區麴町四丁目六番地分明届出同年八月參拾日受附同年九月參日入籍通知ニ因リ除籍  
五十四 妻藤子ト協議離婚届出大正四拾年六月五日受附  
五十五 大正四拾年六月五日夫禮二郎ト協議離婚届出同月七日入籍通知ニ因リ除籍

五十六 夫東京市麴町區麴町四丁目六番地戸主甲野義太郎二男禮二郎ト協議離婚届出大正四拾年六月五日麴町區長雲井高輔受附同月六日送付復籍  
五十七 大正四拾年六月五日離婚ノ裁判確定夫禮二郎届出同日受附  
五十八 大正四拾年六月五日離婚ノ裁判確定同月七日入籍通知ニ因リ除籍

改正法規大全

四十一 東京市麴町區麴町四丁目六番地甲野禮二郎ト婚姻届出大正參拾參年七月五日麴町區長雲井高輔受附同月七日送付除籍  
四十二 マリヤ、ベルナルト婚姻大正參拾參年五月六日イ國何職何某婚姻證書作製右際本提出同月拾日同國駐在大使大和武雄受附同年六月五日送付  
四十三 乙川忠二郎ト婿養子縁組婚姻届出大正貳拾年八月拾日受附  
四十四 千葉縣千葉郡千葉町五番地戸主乙川忠吉二男大正貳拾年八月拾日甲野義太郎長女櫻子ト婿養子縁組婚姻届出同日入籍

四十五 東京市麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎長女櫻子ト婿養子縁組婚姻届出大正貳拾年八月拾日麴町區長雲井高輔受附同月拾壹日送付除籍  
四十六 千葉縣千葉郡千葉町五番地戸主乙川忠吉二男大正四拾年五月五日藤子ト入夫婚姻届出同日入籍  
四十七 乙川忠二郎ト入夫婚姻届出大正四拾年五月五日受附  
四十八 大正四年拾壹月七日父甲野義太郎母梅子ノ婚姻ニ因リ嫡出子ト爲ル  
四十九 大正拾年六月拾四日梅子トノ婚姻取消ノ裁判確定東京地方裁判所檢事野賢二記載請求同月拾八日受附

五十九 大正四拾年六月五日離婚ノ裁判確定東京市麴町區麴町四丁目六番地戸主甲野義太郎二男禮二郎届出同月五日麴町區長雲井高輔受附同月六日送付復籍  
六十 親權及ヒ後見  
六十一 大正拾年七月參日父義太郎親權(管理權)喪失ノ裁判確定ニ因リ母梅子親權(管理權)ヲ行フ旨届出同月七日受附  
六十二 大正拾八年八月五日失權宣告取消ノ裁判確定義太郎弟乙山義三郎届出同月九日受附  
六十三 大正拾五年七月拾日親權ヲ行フ母財產ノ管理ヲ辭シタルニ因リ後見開始同月參拾日後見人千葉縣千葉郡千葉町五番地乙野忠太郎就職ニ付キ届出八月七日受附  
六十四 大正拾六年七月七日後見人乙野忠太郎辭任同月拾日千葉縣千葉郡千葉町五番地乙野乙二郎就職ニ付キ更迭届出同月拾五日受附  
六十五 大正拾八年八月五日被後見人成年ニ達シタルニ付後見終了届出同月八日受附  
六十六 大正拾九年五月四日準治産宣告同月拾日保佐人千葉縣千葉郡千葉町五番地乙野忠二郎就職ニ付届出同月拾五日受附  
六十七 隱居  
六十八 隱居届出大正四年拾壹月六日受附  
六十九 大正四年拾月拾日附東京區裁判所ノ許可ノ裁

判ニ依リ隱居届出同年拾壹月六日受附  
 六十八 東京市麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎ト  
 婚姻届出大正四年拾壹月七日麴町區長雲井高輔受附  
 同月八日送付隱居ノ上除籍  
 死亡及ヒ失踪  
 六十九 大正拾年六月壹日午後八時麴町區平河町一丁  
 目四番地ニ於テ死亡戸主甲野義太郎届出同月參日受  
 附  
 七十 大正拾年五月五日神奈川縣足柄下郡酒匂村沖  
 ニ於テ水難ニ因リ死亡酒匂村長海邊浪吉報告同月六  
 日受附  
 七十一 大正拾壹年九月拾日午前十時東京市牛込區市  
 ケ谷富久町東京監獄ニ於テ死亡典獄鬼頭鐵造報告同  
 月拾貳日牛込區長天津晴風受附報告書謄本同月拾四  
 日送付  
 七十二 大正拾壹年九月拾日午前十時橫濱市加賀町五  
 番地先道路ニ於テ本籍氏名不詳ノ者死亡ニ付キ加賀  
 町警察署長警視刑部律造ノ報告書同日橫濱市長舟崎  
 安守受附同警察署長警視法三章ノ死亡者ノ本籍氏名  
 ノ報告書同月拾五日同市長蠣崎一義受附兩報告書謄  
 本同月拾七日送付  
 七十三 明治參拾五年參月日及ヒ場所不詳死亡届出ヲ  
 爲ス者ナキニ付キ大正四年貳月壹日附東京區裁判所  
 ノ許可ニ依リ同月五日除籍  
 七十四 大正四拾五年拾貳月五日失踪宣告大正四拾年

參月拾日死亡ト看做サル右本人弟甲野禮二郎届出同  
 月七日受附  
 家督相續  
 七十五 大正參年拾貳月參拾壹日前戸主仁吉死亡ニ因  
 リ選定家督相續人千葉縣千葉郡千葉町五番地戸主乙  
 野忠藏四男忠四郎相續届出大正四年壹月拾日受附  
 七十六 大正四年壹月拾日甲野義太郎ノ家督相續届出  
 アリタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス  
 七十七 大正四拾年五月五日乙川忠二郎ト入夫婚姻届  
 出忠二郎戸主ト爲リタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス  
 七十八 大正參年拾貳月參拾壹日前戸主仁吉死亡ニ因  
 リ母甲野松子胎兒ノ爲メ家督相續届出大正四年壹月  
 拾日受附  
 七十九 大正四年貳月拾六日家督相續人タル胎兒死體  
 ニテ分娩母甲野松子届出同月貳拾日受附家督相續ノ  
 記載抹消  
 八十 大正參年拾貳月參拾壹日前戸主仁吉死亡ニ因  
 リ母甲野松子胎兒ノ爲メ家督相續届出大正四年壹月  
 拾日受附前戸主ノ戸籍ヨリ移記  
 八十一 大正四年壹月拾日家督相續人義太郎ノ出生届  
 出アリタルニ付本戸籍ヲ抹消ス  
 八十二 大正參年拾貳月參拾壹日前戸主仁吉死亡ニ因  
 リ家督相續大正四年拾月拾貳日家督相續回復ノ裁判  
 確定届出同月貳拾日受附  
 八十三 大正四年拾月貳拾日義太郎ノ家督相續回復届

出アリタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス  
 推定家督相續人ノ廢除  
 八十四 大正貳拾年七月六日疾病ニ因リ家政ヲ執ルニ  
 堪ヘサルニ因リ推定家督相續人廢除ノ裁判確定戸主  
 甲野義太郎届出同月八日受附  
 八十五 大正貳拾四年八月拾壹日家督相續人廢除取消  
 ノ裁判確定戸主甲野義太郎届出同月拾八日受附  
 家督相續人ノ指定  
 八十六 千葉縣千葉郡千葉町五番地戸主乙野忠藏四男  
 忠四郎ヲ家督相續人ニ指定届出大正四拾五年五月四  
 日受附  
 八十七 家督相續人乙野忠四郎指定取消届出大正四拾  
 六年拾月六日受附指定ノ記載抹消  
 八十八 大正四拾六年拾月六日指定家督相續人乙野忠  
 四郎死亡甲野義太郎届出同月拾日受附家督相續人指  
 定ノ記載抹消  
 八十九 大正四拾六年拾月六日禮三郎出生ニ因リ家督  
 相續人乙野忠四郎ノ指定失効ニ付キ其記載抹消  
 入籍、離籍及ヒ復籍拒絕  
 九十 神奈川縣橋樹郡橋村五番地戸主丙山忠吉二女  
 戸主甲野義太郎姪入籍届出大正參拾參年九月七日受  
 附  
 九十一 東京市麴町區麴町四丁目六番地甲野義太郎家  
 籍ニ入籍届出大正參拾參年九月七日麴町區長雲井高  
 輔受附同月九日送付除籍

九十二 千葉縣千葉郡千葉町五番地戸主乙野忠藏曾孫  
 入籍戸主妻梅子届出大正參拾參年拾壹月拾日受附  
 九十三 戸主ノ同意ヲ得シテ島子ト婚姻ヲ爲シタル  
 ニ因リ離籍届出大正參拾參年拾壹月五日受附  
 九十四 麴町區平河町一丁目四番地ニ一家創立届出大  
 正參拾參年拾壹月拾日受附除籍  
 九十五 大正參拾參年拾壹月拾日夫禮太郎一家ヲ創立  
 シタルニ因リ共ニ除籍  
 九十六 麴町區麴町四丁目六番地戸主甲野義太郎長男  
 戸主ノ同意ヲ得シテ島子ト婚姻ヲ爲シ大正參拾參  
 年拾壹月五日離籍ニ因リ一家創立届出同月拾日受附  
 九十七 大正參拾參年拾壹月拾日夫禮太郎一家ヲ創立  
 シタルニ因リ共ニ入籍  
 九十八 姪萩子戸主義太郎ノ同意ヲ得シテ神奈川縣  
 橋樹郡橋村十番地丙川悌八ト婚姻ヲ爲シタルニ因リ  
 復籍拒絕届出大正參拾參年拾貳月拾日受附  
 九十九 姪萩子戸主義太郎ノ同意ヲ得シテ神奈川縣  
 橋樹郡橋村十番地丙川悌八ト婚姻ヲ爲シタルニ因リ  
 復籍拒絕届出大正參拾參年拾貳月拾日受附右前戸主  
 義太郎ノ戸籍ヨリ移記  
 百 大正五拾年拾貳月拾九日神奈川縣橋樹郡橋村十番  
 地丙川悌八妻萩子離婚ニ因リ同村一番地ニ一家創立  
 届出同月貳拾日橋村長山邊熊藏受附同月貳拾壹日送  
 付右萩子ノ復籍拒絕ノ記載抹消

百一 大正五拾年拾貳月拾九日神奈川縣橋樹郡橋村十番地丙川梯八妻萩子死亡届出ヲ爲ス者ナキニ付大正五拾壹年參月拾日附東京區裁判所ノ許可ニ因リ同月拾壹日右萩子ノ復籍拒絕ノ記載抹消

廢家及ヒ絶家

百二 廢家届出大正六拾五年五月五日受附  
百三 大正六拾五年五月四日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ依リ廢家届出同月五日受附

百四 千葉縣千葉郡千葉町五番地乙野忠二郎家籍ニ親族入籍戸主甲野義太郎届出大正六拾五年五月拾日受附同月拾五日入籍通知ニ因リ全戸除籍

百五 家督相續人ナキニ因リ絶家甲野菊子届出大正六拾五年五月五日受附

百六 麴町區麴町四丁目六番地戸主甲野義太郎妹大正六拾五年五月壹日義太郎死亡家督相續人ナキニ付キ絶家ニ因リ一家創立届出同月五日受附

百七 麴町區平河町一丁目五番地ニ於テ一家創立届出大正六拾五年五月五日受附除籍

百八 相續人ナキニ因リ絶家大正六拾六年九月六日附東京區裁判所ノ許可ニ依リ同月七日日本戸籍抹消

分家

百九 麴町區麴町四丁目六番地戸主甲野義太郎弟分家届出大正拾五年拾月拾五日受附

百十 大正拾五年拾月拾五日父義二郎分家ニ付キ共ニ入籍

百十一 麴町區平河町一丁目百十番地ニ分家届出大正拾五年拾月拾五日受附除籍

廢絶家再興

百十三 千葉縣千葉郡千葉町五番地戸主乙野忠二郎弟廢家(絶家)甲野氏再興届出大正六拾六年拾壹月拾壹日受附

百十四 東京市麴町區麴町四丁目六番地ニ於テ廢家(絶家)甲野氏再興届出大正六拾六年拾壹月拾壹日麴町區長雲井高輔受附同月拾五日送付除籍

百十五 マリヤ、ベルナルト婚姻届出大正參拾參年五月六日受附

百十六 イ國ロ府ハ街十番地カール、ベルナルト二女大正參拾參年五月六日甲野禮太郎ト婚姻届出同日國籍取得入籍

百十七 イ國ロ府ハ街十番地マリヤ、ベルナルト私生子父甲野禮太郎認知届出大正貳拾五年拾貳月拾日受附國籍取得入籍

百十八 イ國ロ府ハ街十番地フリドリツヒ、ベルナル弟大正四年拾貳月拾壹日附許可ニ因リ歸化届出同月拾五日受附一家創立

百十九 大正貳拾四年拾二月拾參日イ國ロ府ハ街フリドリツヒ、ベルナルト婚姻ヲ爲シタルニ因リ國籍ノ訂正

籍喪失戸主甲野義太郎届出同月貳拾日受附除籍

百二十 大正貳拾四年拾貳月拾參日イ國ロ府ハ街フリドリツヒ、ベルナルト婚姻ヲ爲シ國籍喪失ノ處大正貳拾六年拾月五日附許可ニ因リ國籍回復届出同月拾日受附一家創立

氏名、族稱ノ變更及ヒ襲爵

百二十一 大正四年八月拾六日附許可ニ因リ其名義太郎ヲ義敬ト變更届出同月拾八日受附

百二十二 大正四年八月拾日附辭令ヲ以テ華族ニ列セラル右届出同月拾七日受附

百二十三 大正四年八月拾日附辭令ニ因リ襲爵届出同月十七日受附

百二十四 大正拾年拾月拾日東京地方裁判所ニ於テ懲役ノ刑ニ處セラレ華族ノ族稱喪失右同裁判所ノ報告同月拾六日受附

轉籍

百二十五 千葉縣千葉郡千葉町五番地ヨリ轉籍届出大正四年七月貳拾日受附入籍

百二十六 東京市麴町區元園町一丁目三番地ニ轉籍届出大正四年七月貳拾日麴町區長雲井高輔受附同月貳拾壹日送付全戸除籍

百二十七 麴町區麴町四丁目六番地ニ轉籍届出大正四年拾月六日受附

百二十八 大正六拾七年五月八日土地ノ名稱變更ニ付

キ本籍欄中「麴町四丁目」ヲ「元町四丁目」ニ更正

就籍

百二十九 大正四年八月壹日附東京區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ戸主甲野義太郎届出同月五日受附就籍

戸籍ノ訂正

百三十 大正六年九月六日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ父甲野義太郎戸籍訂正申請同月拾日受附出生ノ日ヲ「六日」ト訂正ス

百三十一 父甲野義太郎出生届大正五年九月拾八日受附出生ノ日ヲ「拾五日」ト訂正ス

百三十二 大正貳拾五年五月壹日確定東京地方裁判所ノ嫡出子否認ノ判決ニ因リ甲野義太郎戸籍訂正申請同月參日受附同月拾日入籍通知ニ因リ除籍

百三十三 大正參拾四年壹月拾日確定東京地方裁判所ノ判決ニ因リ父丙山信兵衛ト確定ニ付キ同人ヨリ戸籍訂正申請同月拾五日受附同月貳拾日入籍通知ニ因リ除籍

百三十四 大正四年拾月拾四日確定東京地方裁判所ノ養子縁組無効ノ判決ニ因リ養父甲野義太郎戸籍訂正申請同月拾八日受附同月貳拾日入籍通知ニ因リ除籍

百三十五 大正四年拾月拾四日確定東京地方裁判所ノ養子縁組無効ノ判決ニ因リ養父甲野義太郎戸籍訂正申請同月拾八日受附同月貳拾日入籍通知ニ因リ除籍

百三十六 縁組無効ニ付大正四年拾月拾四日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ甲野義太郎戶籍訂正申請同月拾五日受附同月拾六日入籍通知ニ因リ除籍百三十七 縁組無効ニ付キ大正四年拾月拾四日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ甲野義太郎戶籍訂正申請同月拾五日受附同月拾六日送付入籍百三十八 大正五年五月壹日確定東京地方裁判所ノ隱居取消ノ判決ニ因リ東京地方裁判所檢事茂野賢二戶籍訂正請求同月參日受附本戶籍抹消百三十九 大正四拾七年五月壹日確定東京地方裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ妻梅子戶籍訂正申請同月參日受附本戶籍抹消百四十 戶主トノ續柄ノ記載ニ錯誤アルモ戶籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキニ付キ大正六年九月六日附東京區裁判所ノ許可ニ因リ同月八日其續柄ヲ「弟」ト訂正ス

●戶籍手數料規則

(大正三年九月五日勅令第百八十三號)

朕戶籍手數料規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 戶籍手數料規則  
 第一條 戶籍簿、除籍簿又ハ戶籍法第三十六條ノ書類ノ閱覽ニ付テノ手數料ハ一回ニ付拾錢トス  
 第二條 戶籍又ハ除カレタル戶籍ノ謄本又ハ抄本ノ交付ニ付テノ手數料ハ一枚ニ付拾錢トス一枚ニ滿タサルトキ亦同シ

第三條 届出若ハ申請ノ受理又ハ戶籍法第三十六條ノ書類ニ記載シタル事項ノ證明書ノ交付ニ付テノ手數料ハ一件ニ付拾錢トス  
 附則  
 本令ハ大正四年壹月壹日ヨリ之ヲ施行ス

○寄留手續令

(大正三年十月二十八日勅令第百二十六號)

朕寄留手續令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 寄留手續令  
 第一條 本令ニ於テ住所又ハ居所ト稱スルハ九十日以上本籍外ニ於テ居住スル目的ヲ以テ定メタル住所又ハ居所ヲ謂フ  
 第二條 寄留簿ハ住所寄留簿及居所寄留簿ノ二種トス  
 第三條 寄留簿ハ市町村內ノ寄留者ニ付寄留ノ場所ノ地番號ノ順序ニ從ヒ世帯ヲ同クスル者ニ付テハ世帯毎ニ區別シテ之ヲ編製ス  
 一ノ市町村內ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二箇以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其ノ區畫ノ順序ハ戶籍編綴ノ順序ニ從フ  
 第四條 寄留簿ヲ閱覽シ又ハ其ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得  
 寄留簿ノ閱覽ニ付テノ手數料ハ一回ニ付五錢、寄留簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ニ付テノ手數料ハ一枚ニ付五錢トス一枚ニ滿タサルトキ亦同シ

第五條 住所寄留簿ニハ市町村內ニ住所ヲ有スル者、居所寄留簿ニハ市町村內ニ居所ヲ有スル者ニ付左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 寄留者ノ氏名及職業
- 二 世帯主ノ氏名及世帯主ト寄留者トノ續柄
- 三 寄留者ノ本籍、華土族ノ稱及出生ノ年月日
- 四 寄留者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名及戶主ト寄留者トノ續柄
- 五 配偶者アル者ニ付テハ其ノ配偶者ノ氏名
- 六 本籍ナキ者及本籍分明ナラサル者ニ付テハ其ノ事由
- 七 日本ノ國籍ヲ有セサル寄留者ニ付テハ其ノ者ノ國籍又ハ其ノ者カ國籍ヲ有セサルコト
- 八 寄留ノ年月日及場所
- 九 寄留地ヲ變更シタル者ニ付テハ原寄留地住所外ニ寄留スル者ニ付テハ住所寄留簿ニハ其ノ住所外ノ寄留ノ年月日及場所、居所寄留簿ニハ其ノ住所外ノ記載スルコトヲ要ス

世帯ヲ同クスル寄留者ノ全員ニ關スルトキハ移記ニ代ヘ其ノ寄留簿ノ用紙ヲ當該寄留簿中ニ編綴スルコトヲ得  
 第八條 市町村長届出ニ因リテ寄留簿ノ記載ヲ爲ストキハ其ノ旨ヲ記載シ職權ヲ以テ寄留簿ノ記載ヲ爲ストキハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス  
 第九條 寄留地又ハ原寄留地ノ市町村長寄留ニ關スル届出ヲ受ケタルトキハ寄留簿ノ記載ヲ爲シタル後遲滞ナク本籍地ノ市町村長ニ届出ヲ送付スルコトヲ要ス但シ住所外ノ寄留ニ關スル届書ハ住所外ノ市町村長ニ之ヲ送付スルコトヲ要ス  
 寄留地、原寄留地又ハ本籍地ノ市町村長寄留ニ關スル届出ヲ受ケタル場合ニ於テ原寄留地又ハ住所外ノ寄留地ニ於テ寄留簿ノ記載ヲ爲スヘキトキハ遲滞ナク届書ノ謄本ヲ作り原寄留地又ハ住所外ノ寄留地ノ市町村長ニ之ヲ送付スルコトヲ要ス  
 第十條 前條ノ規定ニ依リ届書又ハ其ノ謄本ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ届書又ハ謄本ニ依リ遲滞ナク寄留ニ關スル記載ヲ爲スコトヲ要ス  
 第十一條 寄留者ノ本籍地ノ市町村長ハ其ノ者ノ戶籍ニ用紙ヲ添附シ之ニ其ノ氏名、寄留ノ場所及年月日並寄留ノ場所ノ住所又ハ居所ナルコトヲ記載スルコトヲ要ス但シ住所外ノ寄留ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
 前項ノ用紙ハ別ニ之ヲ編綴スルコトヲ得  
 第十二條 第四條及第六條ノ規定ハ前條ノ用紙ニ付之

ヲ準用ス

第十三條 第四條及前條ノ規定ニ依ル手数料ハ之ヲ市町村ノ收入トス

第十四條 戶籍ニ記載シタル事項ノ變更ニ因リ寄留簿ノ記載ヲ更正又ハ抹消スヘキ場合ニ於テハ本籍地ノ市町村長ハ第十一條ノ用紙ニ記載シタル寄留地ノ市町村長ニ更正又ハ抹消スヘキ事項ヲ通知スルコトヲ要ス

住所外ノ市町村長住所外ニ寄留スル者ニ付前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ住所寄留簿ノ記載ヲ更正又ハ抹消シタル後遲滞ナク住所外ノ寄留地ノ市町村長ニ更正又ハ抹消シタル事項ヲ通知スルコトヲ要ス

第十五條 前條第一項ノ規定ハ寄留地ノ市町村長カ戶籍ニ關スル届書其ノ他ノ書類ヲ受ケタル場合ニハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ寄留地ノ市町村長ハ其ノ書類ニ依リ寄留簿ノ記載ヲ更正又ハ抹消シタル後遲滞ナク本籍地ノ市町村長ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

住所外ノ寄留地ノ市町村長前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ住所外ノ市町村長ニ、住所外ノ市町村長之ヲ受ケタルトキハ住所外ノ寄留地ノ市町村長ニ更正又ハ抹消シタル事項ヲ通知スルコトヲ要ス

第十六條 寄留者寄留地ヲ退去シタルトキハ其ノ者ニ關スル原寄留地ノ寄留簿ノ記載ハ之ヲ抹消シ世帯ヲ同クスル寄留者ノ全員退去シタル場合ニ於テハ其ノ

ノ新戶籍ニ之ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十一條 市町村長ハ地方裁判所長ノ許可ヲ得テ何時ニテモ寄留簿及第十一條ノ用紙ヲ改製スルコトヲ得

第二十二條 寄留者寄留ノ場所ヲ退去シタル場合ニ於テ原寄留地ノ市町村長寄留簿ノ記載ヲ爲シタルトキハ世帯ニ屬シタル者ニ付テハ世帯主、第二十五條ノ寄留者ニ付テハ場屋ノ管理者、其ノ他ノ寄留者ニ付テハ原寄留所ノ家主又ハ家屋ノ管理人ニ遲滞ナク其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス但シ世帯ニ屬スル者又ハキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 寄留ニ關スル帳簿及書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第二十四條 寄留ニ關スル届出ハ寄留者、世帯ヲ同クスル者ニ付テハ世帯主之ヲ爲スコトヲ要ス  
寄留者届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ同居者、世帯主届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ之ニ代リテ世帯ヲ管理スル者其ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條 寄留所、寄舎其ノ他ノ多數同居ヲ目的トスル場屋ノ寄留者ニ付テハ其ノ場屋ノ管理ヲ爲ス者寄留ニ關スル届出ヲ爲スコトヲ要ス

第二十六條 寄留ニ關スル届出ハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外本人ノ寄留地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス  
第二十七條 寄留ニ關スル届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ

寄留ニ關スル用紙ヲ閉鎖シ之ヲ寄留簿ヨリ除クコトヲ要ス

前項ノ規定ハ同一市町村内ニ於テ寄留所及本籍ヲ有スル寄留者本籍ニ復歸シ又ハ住所及居所ヲ有スル寄留者住所若ハ居所ヲ退去シタル場合ニ之ヲ準用ス寄留者カ寄留ノ場所ニ本籍ヲ定メタル場合、第七條ノ規定ニ依リ寄留簿ノ記載ヲ移記シタル場合其ノ他寄留者ヲ寄留簿ヨリ除クヘキ場合亦同シ

第十七條 前條ノ規定ハ第十一條ノ用紙ニ之ヲ準用ス但シ寄留者カ住所外ノ寄留所ヲ退去シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 市町村長職權ヲ以テ寄留簿ノ記載ヲ爲シタルトキハ届出義務者ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス前項ノ場合ニ於テハ第十五條第二項ノ規定ニ準シ寄留簿ニ記載シタル事項ヲ通知スルコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テ寄留ノ場所及年月日ニ關スル記載ヲ爲シタルトキハ本籍地ノ市町村長ニモ其ノ事項ヲ通知スルコトヲ要ス但シ住所外ノ寄留ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 市町村長第十四條、第十五條又ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク寄留ニ關スル記載ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 寄留者カ其ノ本籍ヲ他ノ市町村ニ轉シタルトキハ原籍地ノ市町村長ハ第十一條ノ用紙ヲ新本籍地ノ市町村長ニ送付シ新本籍地ノ市町村長ハ寄留者

之ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 届書ニハ本人ノ氏名及届出ノ年月日ヲ記載シ届出人又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第二十九條 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人又ハ其ノ代理人市役所又ハ町村役場ニ出頭シ届書ニ記載スヘキ事項ヲ陳述スルコトヲ要ス  
市町村長ハ前項ノ陳述ヲ筆記シ届出ノ年月日ヲ記載シテ届出人又ハ其ノ代理人ニ讀ミ聞カセ且之ヲシテ其ノ書面ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

第三十條 前二條ノ場合ニ於テ署名スルコト能ハサル者ハ氏名ヲ代署セシメ印ヲ有セサル者ハ拇印スルヲ以テ足ル但シ自ら署名スル者ハ拇印スルコトヲ要セ

第三十一條 寄留ノ届出ハ住所又ハ居所ヲ定メタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス  
届書ニハ第五條ニ掲ケタル事項及寄留ノ場所ノ住所又ハ居所ナルコトヲ記載スルコトヲ要ス

届書ニハ家主若ハ家屋ノ管理人ノ承諾書ヲ添附シ又ハ其ノ者ヲシテ承諾ヲ爲シタル旨ヲ記載シ署名捺印セシムルコトヲ要ス但シ世帯ニ屬スル者ニ關スル届出及第二十五條ノ届出ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 寄留者同一市町村内ニ於テ寄留ノ場所ヲ變更シタルトキハ十日以内ニ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ原寄所、新寄留所及變更ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第三項ノ規定ハ前項ノ届書ニ之ヲ準用ス

第三十三條 寄留者本籍又ハ住所ニ復歸シタルトキハ復歸ノ日ヨリ十日内ニ本籍地又ハ住所ニ於テ其ノ旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ本籍又ハ住所及復歸ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 前條ノ場合ヲ除クノ外寄留者カ新ニ寄留ノ場所ヲ定メシテ寄留地ヲ退去シ又ハ朝鮮、臺灣、樺太、關東州若ハ外國ニ居住スル目的ヲ以テ寄留地ヲ退去スルトキハ豫メ其ノ旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第三十五條 寄留者カ其ノ住所ヲ居所ニ又ハ居所ヲ住所ニ變更シタルトキハ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ變更ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十六條 第十四條第一項及前四條ノ場合並行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタル場合ヲ除クノ外寄留簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ十日内ニ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ變更ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十七條 第二十二條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケヘキ者カ寄留者ノ退去ノ後二十日内ニ其ノ通知ヲ受ケサルトキハ爾後十日内ニ原寄留地ニ於テ退去ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ退去ノ年月日及知レタル退去先ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十八條 届書ニハ前數條ニ定メタル事項ノ外寄留簿ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ナラシム爲メ必要ナルモノヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 市町村長カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ相當ノ期間ヲ定メ届出義務者ニ對シ其ノ期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ得

第四十條 本令ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ヨリ引續キ寄留スル者ニシテ從前ノ規定ニ依リテ寄留ノ届出ヲ爲ササルモノハ本令ニ從ヒ本令施行ノ日ヨリ十四日内ニ寄留ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

市町村長ハ本令施行前寄留ノ届出ヲ爲シタル者ニ付第三十九條ノ規定ニ準シ本令ニ依リテ寄留簿ノ記載ヲ爲ス爲メ必要ナル事項ノ届出ヲ爲サシムルコトヲ得

○寄留手續細則

(大正三年十月二十九日 司法省令第十號)

寄留手續細則左ノ通相定ム

寄留手續細則

第一條 寄留簿ノ用紙ハ附錄第一號様式ニ依リ寄留手續令第十一條ノ用紙ハ附錄第二號様式ニ依リテ之ヲ調製スヘシ但シ市町村長ハ地方裁判所長ノ許可ヲ得テ別ニ其ノ様式ヲ定ムルコトヲ得

第二條 寄留簿ハ世帯ヲ同クスル者ニ付テハ一世帯毎ニ一用紙ヲ備フヘシ

前項ノ寄留者ヲ除クノ外同一番地ニ寄留スル者ハ之ヲ一用紙ニ列記スヘシ但シ其ノ一人又ハ數人ニ付一用紙ヲ備フルコトヲ得

第三條 寄留簿ニハ附錄第三號様式ニ依ル表紙ヲ附スヘシ

寄留簿ヲ分冊シタル場合ニ於テハ其表紙ニ番號ヲ記載シ地區ニ依リテ分冊シタルトキハ其ノ地區ノ名稱ヲモ記載スヘシ

第四條 寄留手續令第十一條ノ用紙ヲ編綴スルニハ戶主ノ氏ノイロハ順ニ依ルヘシ

前項ノ用紙綴ニハ附錄第四號様式ニ依ル表紙ヲ附スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ用紙綴ニ付之ヲ準用ス

第五條 市町村長ハ寄留簿ニ付見出帳ヲ備フヘシ但シ地方裁判所長ノ許可ヲ得タルトキハ之ヲ備ヘサルコトヲ得

第六條 寄留簿ノ記載ハ附錄第五號記載例ニ依リテ之ヲ爲スヘシ



末ニ認印スヘシ

市町村長ノ代理者寄留簿ノ記載ヲ爲ストキハ其ノ文  
末ニ代理資格ヲ記載シテ認印スヘシ

第十二條 寄留簿及寄留手續令第十一條ノ用紙ノ閱覽  
ハ吏員ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第十三條 寄留簿又ハ寄留手續令第十一條ノ用紙ノ膽  
本又ハ抄本ハ原本ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ル  
ヘシ

膽本又ハ抄本ニハ其ノ記載ニ接續シテ附録第七號書  
式ニ依ル附記ヲ爲スヘシ

膽本又ハ抄本數葉ニ涉ルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴  
目ニ契印スヘシ

前項ノ規定ハ膽本又ハ抄本ニ掛紙ヲ爲シタル場合ニ  
之ヲ準用ス

第十四條 前條第二項及第三項ノ規定ハ市町村長ノ作  
ルヘキ届書ノ膽本ニ之ヲ準用ス

第十五條 市町村長届出ヲ怠リタル者ニ對シ寄留手續  
令第三十九條ニ依リ爲スヘキ催告ハ附録第八號書式  
ニ依リ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十六條 市町村長届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リ  
タルトキハ届出事件ヲ具シ其ノ旨ヲ管轄區裁判所ニ  
通知スヘシ

第十七條 第七條第二項又ハ寄留手續令第十六條若ハ  
第十七條ノ規定ニ依リ閉鎖シタル用紙ノ保存期間ハ  
當該年度ノ翌年ヨリ三年トス

求スルコトヲ得但シ關東州租借地宛小包郵便物ノ  
輸入ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前條ノ小包郵便物ニハ差出人ニ於テ郵便物ノ名宛  
面及其ノ送票ニ「税金通知」ナル指定ヲ記載スヘシ

第十條ノ三 税金通知小包郵便ニ關シテハ有税ノモ  
ノニ在リテハ其ノ税金額ヲ又無税ノモノニ在リテ  
ハ其ノ旨ヲ郵便官署ヨリ差出人ニ通知ス税金額ニ  
異動ヲ生シタル場合亦同シ

第十條ノ四 税金通知ノ請求ナキ小包郵便物ノ差出  
人ハ該郵便物差出後二年内ニ於テ該郵便物ノ受領  
證ヲ呈示シ是カ税金通知ヲ引受郵便官署ニ請求ス  
ルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ストキハ金七錢ヲ納付スヘシ

逓信省令第四十七號(大正三年十一月十四日)

郵便規則中左ノ通改正ス

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十八條中「價格表記ノ郵便物及書留小包郵便物」ヲ  
「書留又ハ價格表記ノ郵便物」ニ「金千圓トス」ヲ「金千  
圓トシ錢位未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス」ニ改ム

第五十一條ノ二 郵便振替貯金加入者ハ別ニ定ムル所  
ニ從ヒ其ノ口座ニ引換代金ノ振替拂込ヲ請求スルコ  
トヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便物ニ「何番口座拂込」ト  
記入スヘシ

第五十三條 左ノ證書又ハ證券ハ集金郵便トシテ之ト  
引換ニ現金ノ取立ヲ郵便官署ニ委託スルコトヲ得

改正法規大全

第十八條 寄留手續令第二十一條ニ依リ寄留簿ノ全部  
又ハ一部ヲ改製シタル場合ニ於テハ原寄留簿又ハ改  
製セラレタル用紙ノ保存期間ハ改製ノ翌年ヨリ三年  
トス

前項ノ規定ノ寄留手續令第十一條ノ用紙ヲ改製シタ  
ル場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 寄留ニ關スル届書其ノ他ノ附屬書類ノ保存  
期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ二年トス

第二十條 從前ノ規定ニ依ル入寄留簿又ハ出寄留簿ニ  
記載シタル寄留者ニ付寄留簿又ハ寄留手續令第十一  
條ノ用紙ノ記載ヲ爲シタルトキハ原寄留簿ノ保存期  
間ハ其ノ記載ヲ爲シタル翌年ヨリ三年トス

第二十一條 前條ニ掲ケタルモノヲ除クノ外從前ノ帳  
簿及書類ノ保存期間ハ從前ノ規定ニ依ル

第二十二條 市町村長保存期間ノ經過シタル帳簿又ハ  
書類ヲ廢毀セムトスルトキハ目錄ヲ作り監督區裁判  
所ノ認可ヲ受クヘシ

○郵便規則中改正

逓信省令第四十六號(大正三年十一月十四日)

日支郵便規則中左ノ通改正ス

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條ノ前ニ左ノ三條ヲ加フ

第十條ノ二 小包郵便物ノ差出人ハ金四錢ヲ納付シ  
テ該郵便物ノ輸入ニ關シ關稅及内國稅ノ通知ヲ請

一、現金受領證  
一、無記名ノ公、社債券又ハ其ノ利札  
二、貨物引換證、船荷證券又ハ之ニ準スヘキモノ  
三、集金郵便ニ依ル金額ノ制限ハ一口ニ付金千圓トシ錢  
位未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス

○郵便規則中改正

逓信省令第四十六號(大正三年十一月十四日)

日支郵便規則中左ノ通改正ス

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條ノ前ニ左ノ三條ヲ加フ

第十條ノ二 小包郵便物ノ差出人ハ金四錢ヲ納付シ  
テ該郵便物ノ輸入ニ關シ關稅及内國稅ノ通知ヲ請

一、現金受領證 金四錢

二、集金留置通知料 一口ニ付 證 金十錢

三、集金送達料 取立濟ノ金額ニ對シ 金三錢

一口ニ付

金一圓迄 金二錢

金五圓迄 金四錢

金十圓迄 金六錢

金二十圓迄 金八錢

金五十圓迄 金十錢

金百圓迄 金十五錢

金百五十圓迄 金二十錢

金二百圓迄 金廿五錢

以上金百圓迄ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ加フ

第五十六條ノ二 集金郵便委託書ハ所定ノ様式ニ適合  
シ且紙質良好ノモノニ限リ私製ノモノヲ用ウルコト  
ヲ得

改正法規大全

二一

私製ノ委託書用紙ハ適當ノ切取線ヲ施シ現金受領證ヲ連續セシムルコトヲ得

第五十八條 委託者左ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ委託書ニ其ノ旨ヲ記入シテ差出スヘシ

一、證書又ハ證券ニシテ第一回ノ取立ニ際シ其ノ金額ヲ取立ツルコト能ハサル場合ニ於テ直ニ之ヲ還付スルコト

二、證書又ハ證券ヲ差出人指定ノ取立郵便官署ニ留置キ支拂人ノ出頭ヲ待テ其ノ取立ヲ爲スコト

三、前號ニ依ル集金郵便ノ到着ヲ支拂人ニ通知スルコト

前項第二號ニ依ル證書又ハ證券ノ留置期間ハ取立期間ト同一トシ第四十條ノ二第二項ノ規定ヲ準用ス

第五十八條ノ二 二通以上ノ證券ヲ以テ一口トナシタルモノニシテ其ノ全部ヲ取立ツルコト能ハサル場合ニ於テ支拂人一部ノ證券ニ對シ支拂ヲ申出テタルトキハ之カ一部取立ヲ爲スヘシ

現金受領證ニ依ル取立金ノ全部ヲ取立ツルコト能ハサル場合ニ於テハ委託書ニ一部取立承諾ノ旨ヲ記入シテ差出シタルモノニ限り之カ一部取立ヲ爲スヘシ前二項ノ場合ニ於テ錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ一部取立ヲ爲サス  
一部取立金額ハ委託者ニ於テ之ヲ指定スルコトヲ得ス又證券ニ依ルモノハ其ノ一通ニ對スル取立金額ノ分割取立ヲ爲サス

郵便爲替規則第六十六條中但書ヲ削リ同條第一號「受取人轉居シタルトキ」ヲ「受取人居宅拂ヲ取扱ハサル地域ニ移轉シタルトキ」ニ改ム

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

逓信省令第四十九號(大正三年十一月十四日)

集金郵便振替貯金拂込規則中左ノ通改正ス

第一條中「現金受領證書」ノ下ニ「又ハ郵便規則第五十三條ニ規定スル證券」ヲ加フ

第二條 本規則ニ依ル特別取扱ニ關シテハ郵便規則第五十五條ニ依ル委託料金及郵便振替貯金規則第二十

八條ニ依ル拂込料金及口座受入料金ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第五條 加入者其ノ發行ニ係ル現金受領證書ニ依リ集金拂込ノ取扱ヲ請求セムトスルトキハ集金書ノ現金受領證書ノ部ニ受領年月日ヲ除クノ外現金領收ニ關スル相當證明ヲ附シ且之ニ接續セル受付票、監査表及拂込通知票ニ相當事項ヲ記入シ之ヲ郵便局ニ差出スヘシ

加入者郵便規則第五十三條ニ規定スル證券ニ依リ集金拂込ノ取扱ヲ請求セムトスルトキハ其ノ證券ニ前項ノ例ニ依リ作成シタル集金書ヲ添ヘ之ヲ郵便局ニ差出スヘシ但シ集金書ノ受付票、拂込通知票及現金受領證書ノ金額記載ノ下部ニハ證券ノ種別及枚數ヲ附記シ尙證券面金額ト取立金額ト異ナルトキハ拂込通知票及現金受領證書ノ裏面ニ證券一通毎ノ取立金額ヲ記載スヘシ

第五十九條第一項中「集金郵便ハ」ノ下ニ「第五十八條第一項第二號ニ該當スルモノヲ除クノ外」ヲ、「第五十八條」ノ下ニ「第一項第一號」ヲ加ヘ、「二回以上」ヲ「二回」ニ、「三十日」ヲ「十五日」ニ改ム  
第五十九條ノ二 取立郵便官署ニ於テ現金受領證ニ依ル一部取立ヲ了シタルトキハ支拂人ヨリ其ノ支拂金額ヲ記載シタル證明書ヲ徴シ之ヲ委託者ニ送付スヘシ此ノ場合ニ於テ支拂人ニ交付スヘキ現金受領證ニハ其ノ取立金額ノ傍ニ一部取立金額ヲ記入ス  
第六十條 現金受領證ニ依リ現金ヲ取立ツルトキハ取立郵便官署ニ於テ之ニ其ノ取立ヲ爲シタル年月日ヲ記入ス  
第六十一條第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
六、第五十八條第一項第二號ニ依ルモノニシテ支拂人留置期間内ニ出頭セス若ハ其ノ期間内ト雖モ成規ニ依ル支拂ノ手續ヲ爲ササル旨申出テタルトキ  
第六十三條第二項中「又ハ證券ノ還付」ヲ削ル  
第六十三條ノ二中「其ノ發行ニ係ル現金受領證ニ依リ之カ集金及口座」ヲ「集金郵便振替貯金」ニ改ム  
第八十二條第一項中「留置期間ヲ經過シ」ノ下ニ「若ハ其ノ期間内ト雖モ受取人ニ於テ成規ニ依ル受取ノ手續ヲ爲ササル旨申出テ」ヲ加フ  
第八十九條第四號中「實損額」ノ下ニ「但シ取立金額ヲ超過スルコトヲ得ス」ヲ加フ  
逓信省令第四十八號(大正三年十一月十四日)

額ヲ記載スヘシ  
第五條ノ二 加入者前條ニ依リ集金拂込ノ取扱ヲ請求セムトスル場合ニ於テ一定期日ノ取立、集金書ノ留置取立、留置集金書ノ到着通知、指定金額ノ一部取立又ハ第一回ノ取立ニ依リ其ノ取立ヲ了スルコト能ハサル場合ニ於ケル證書又ハ證券ノ還付ヲ望ムトキハ集金書監査票ノ上部餘白ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ  
第六條中「前條ノ請求ニ對シ」ヲ削ル  
第七條中「當初請求ヲ爲シタル」ヲ削ル  
第八條第一項中「集金書ハ」ヲ「其ノ現金受領證書又ハ證券ハ」ニ改ム  
第九條中「第五十三條第二項、第五十六條乃至第五十八條」ヲ「第五十五條第三號第五十六條、第五十六條ノ二」ニ改ム

附則

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
從前發行ノ集金書用紙ハ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得但シ一定期日ノ取立、留置集金、留置通知、一部取立承諾又ハ取立一回限り還付等ノ指定ハ拂込票ノ上部餘白ニ之ヲ附記スヘシ  
逓信省令第五十號(大正三年十一月十四日)  
郵便振替貯金規則中左ノ通改正ス  
本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第十一條ノ二第一項中「郵便官署ノ過失ニ依リ過納又ハ誤納セシメタル」ヲ「左ニ記載シタル」ニ改メ同項ニ

左ノ二號ヲ加フ

一、郵便官署ノ過失ニ因リ過納又ハ誤納セシメタル料

二、郵便官署ノ過失ニ因リ各種ノ請求ニ對シ其ノ取扱ヲ爲ササリシ場合ニ於ケル既納ノ料金

第三十一條但書中「附記スヘシ」ヲ「附記スルカ又ハ拂込人住所氏名ノ記載ニ代ヘ」本人拂込」ノ文字ヲ記載スヘシ」ニ改ム

第三十三條中「取立金送達料」ノ下ニ「又ハ集金送達料」ヲ加フ

第三十四條 郵便局ニ於テ郵便規則第五十一條ノ二ニ依リ振替貯金口座ニ拂込ヲ要スル郵便物ノ代金引換ヲ了シタルトキハ其ノ代金ハ引換郵便局ニ於テ直ニ當該加入者ノ口座ニ對シ之カ拂込ノ手續ヲ爲ス  
前項ノ拂込ニ對シテハ第二十八條第一項第一號及第二號ノ料金ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ス  
逓信省令第五十三號(大正三年十二月五日)

郵便規則中左ノ通改正ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十三條ノ二第一項中「書留通常郵便物ニシテ」ノ下ニ「日本字又ハ漢字ヲ以テ明瞭ニ記載シタル」ヲ加ヘ第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ文書ニハ亞刺比亞數字又ハ簡單ナル記號ヲ混記スルコトヲ得

第四十三條ノ三 二箇以上ノ内容證明郵便物ニシテ其

郵便爲替規則中左ノ通改正ス  
本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第一項ヲ左ノ如ク改ム  
郵便爲替證書一枚ノ金額制限ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

- 一 通常爲替 金二百圓
  - 一 電信爲替 金二百圓
  - 一 小爲替 金十圓
- 第三條 郵便爲替證書一枚ノ爲替料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ
- 一 通常爲替
  - 二十圓迄 十 錢
  - 五十圓迄 二十 錢
  - 百圓迄 三十 錢
  - 百五十圓迄 四十 錢
  - 二百圓迄 五十 錢
  - 電信爲替
  - 二十圓迄 三十五 錢
  - 五十圓迄 五十五 錢
  - 百圓迄 七十五 錢
  - 百五十圓迄 九十五 錢
  - 二百圓迄 一圓十五 錢
  - 一 小爲替
  - 一圓迄 二 錢
  - 五圓迄 四 錢

ノ内容文書カ名宛人宿所氏名ノミヲ異ニセルモノハ其ノ名宛人宿所氏名カ各封皮記載ノモノト一致スル場合ニ限り之ヲ同文ノモノトシテ差出スコトヲ得  
「第四十三條ノ三」ヲ「第四十三條ノ四」ニ改メ第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前各項ノ場合ニ於テ差出人認證謄本ノ交付ヲ要セサルトキハ謄本一通ヲ差出スコトヲ得

「第四十三條ノ四」ヲ「第四十三條ノ五」ニ改ム  
「第四十三條ノ五」ヲ「第四十三條ノ六」ニ、第二項中「第三十五條ニ定メタル」ヲ「同文ニ非サル」ニ改メ「割合ニ依ル料金」ノ下ニ「ノ半額」ヲ加フ

「第四十三條ノ六」ヲ「第四十三條ノ七」ニ改ム  
「第四十三條ノ八中」第四十三條ノ三」ヲ「第四十三條ノ四」ニ、「第四十三條ノ五」ヲ「第四十三條ノ六」ニ改メ第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ其ノ宿所氏名カ内容文書ニ記載ノモノト同一ナル場合ハ之カ附記ヲ省略スルコトヲ得

第四十三條ノ九第一項中「一行二十字詰」改メ「一行」ヲ「一行二十字」一枚「二十六行」ニ改メ左ノ但書ヲ加フ

但シ文字ノ挿入ハ之カ爲ニ謄本一枚ノ制限字數ヲ超過スルコトヲ得ス

第四十三條ノ十 第四十三條ノ三ノ場合ニ於テハ其ノ内容文書ノ名宛人宿所氏名ハ之ヲ謄本ニ記載スルコトヲ得ス

逓信省令第五十四號(大正三年十二月八日)

十圓迄 六 錢

逓信省令第五十五號(大正三年十二月八日)  
内地、臺灣、朝鮮、樺太、滿洲又ハ支那(滿洲ヲ除ク)ニ在ル郵便局所ト各其ノ以外ニ在ル郵便局所トノ間及支那ニ在ル郵便局所相互間ニ取組ム電信爲替料金ハ郵便爲替規則第三條ニ依ラス左ノ割合ニ依ル但シ朝鮮ニ在ル郵便局所ト滿洲ニ在ル郵便局所トノ間ニ取組ムモノハ此ノ限ニ在ラス

- 二十圓迄 五十 錢
  - 五十圓迄 八十 錢
  - 百圓迄 一圓十 錢
  - 百五十圓迄 一圓四十 錢
  - 二百圓迄 一圓七十 錢
- 附則

本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治四十一年<sup>十二</sup>月<sup>十二</sup>日 逓信省令第四十九號ハ之ヲ廢止ス

逓信省令第五十六號(大正三年十二月八日)  
明治三十八年<sup>十</sup>月<sup>十</sup>日 逓信省令第七十二號第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ證書一枚ノ金額二百圓ヲ超ユルモノハ百圓迄ヲ増ス每ニ爲替料十錢ヲ加徵ス

本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

逓信省令第五十七號(大正三年十二月八日)  
明治三十六年<sup>二</sup>月<sup>二</sup>日 逓信省令第六號ハ大正三年十二月三十

一日限り之ヲ廢止ス

逓信省令第五十八號(大正三年十二月十一日)  
大正三年八月逓信省令第二十二號中左ノ通改正ス  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一項ヲ左ノ如ク改ム

一 電報ノ發信人及受信人ハ電信局所ニ於テ必要アリト

認ムルトキハ日本語、英吉利語又ハ佛蘭西語ヲ以テ

記載シタル電報譯文ヲ電信局所ニ提出シ且場合ニ依

リ關係暗語書ヲ呈示スルコトヲ要ス

逓信省令第五十九號(大正三年十二月十一日)

郵便規則中左ノ通改正ス

本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十五條第八號ヲ左ノ如ク改ム

八 代金引換料 一口ニ付 金五錢

外ニ取立金送達料トシテ其ノ引換金額一圓迄ハ

金二錢五圓迄ハ金四錢十圓迄ハ金六錢二十圓迄

ハ金十錢五十圓迄ハ金二十錢百圓迄ハ金三十錢

百五十圓迄ハ金四十錢二百圓迄ハ金五十錢、以

上百圓ヲ増ス毎ニ金十錢ヲ加フ

逓信省令第九號(大正二年一月二十九日)

郵便振替貯金規則中左ノ通改正ス

第十三條ヲ削ル

第十四條第二項ヲ削ル

第二十八條第三項ヲ削ル

附則

本令ハ大正四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ加入セル國庫金受拂ノ爲ニスル振替  
貯金口座ニ對シテハ大正四年三月三十一日迄從前ト同  
一ノ取扱ヲ爲ス

逓信省令第二十號(大正四年三月十三日)

電報規則中左ノ通改正ス

本令ハ大正四年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十一條ノ二 發信人豫メ配達スヘキ日時ヲ指定シ

同一電報直配達區域内ニ發受スル同文ノ電報百通以

上ヲ發送セントスルトキハ指定配達日時ノ二十四時

間以前ニ一、二等郵便局電信局現金出納官更ラ置ニ之ヲ

差出スヘシ

前項ノ電報ハ指定配達日時ニ於テ受付ケタルモノト

看做シ其ノ日時ヨリ配達ニ著手ス

第六十一條ノ三 前條ノ電報ニ關スル料金ハ通貨ヲ以

テ之ヲ納付スヘシ

大正三年五月十三日初版印刷  
大正三年五月十七日初版發行  
大正三年九月十日再版發行  
大正四年三月廿二日第二版印刷  
大正四年三月廿五日第二版發行



東京市芝區愛宕町二丁目十四番地

著作者兼發行者 大日本研學會

代表者 西野善吉

東京市芝區愛宕町二丁目十四番地

專務理事 橫須賀寅吉

東京市芝區愛宕町二丁目十四番地

發行所 大日本研學會

東京市京橋區南佐柄木町二番地

印刷人 岩本菊雄

東京市京橋區南佐柄木町二番地

印刷所 岩本活版所

終

